



得点して喜びのポーズを決めるアルフト安曇野ジュニアの選手



シュートを放ってゴールを決める松本北サッカースポーツ少年団の選手

第29回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップ（市民タイムス、松本市サッカースポーツ少年団連合会主催、カガミグループ協賛）が9日、開幕した。小学生で編成される県内の64チームが出場し、松本市と山形村の8会場

市民タイムス少年サッカー・カガミ杯

中野サッカースポーツ少年団（中野市）、JFC須坂ジュニア（須坂市）、長野FCガーフジュニア（長野市）、南信の諏訪FCプライマリー（諏訪市）、永明FCスポーツ少年団（茅野市）が勝ち上がった。

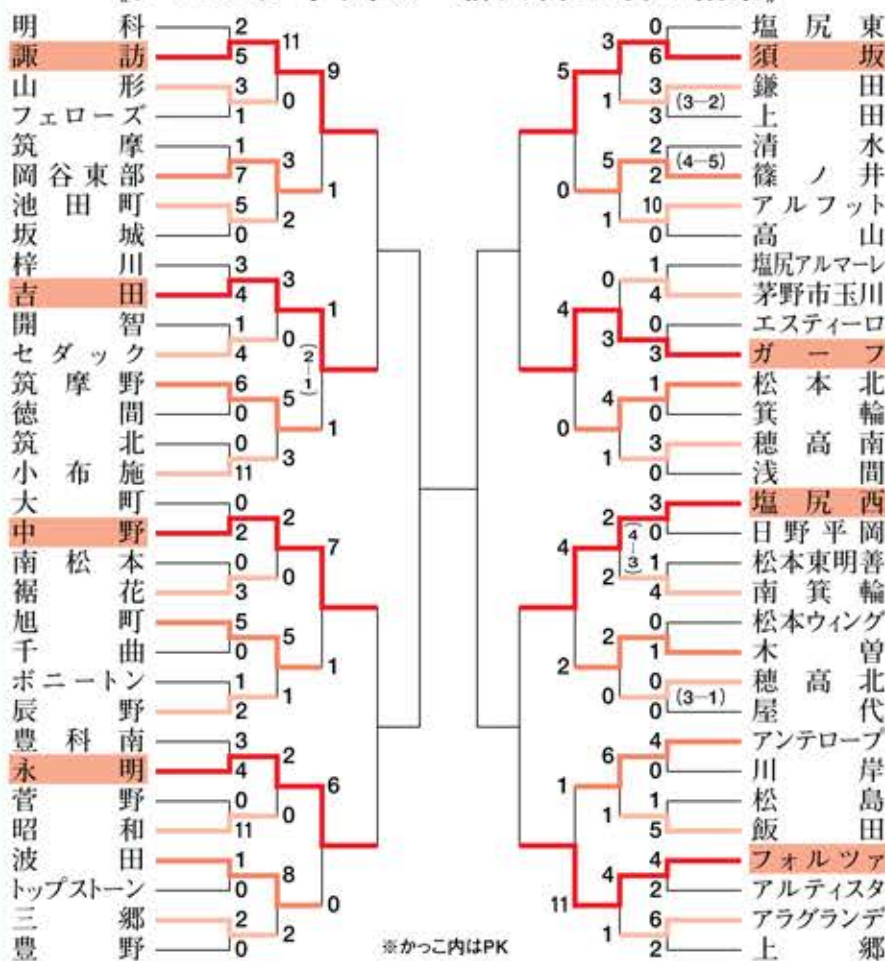
大会最終日は15日でアルウィンと、隣接する芝生グラウンドで準々決勝以上の8試合がある。決勝は午後1時半からアルウィンで、3位決定戦は同時刻に芝生グラウンドで行う。

雨中の新人戦 全力プレー 塩尻西、フォルトツァ 8強に

中信地区からは34チームが出場し、塩尻西サッカースクールスポーツ少年団（塩尻市）、フォルトツァ松本FC（松本市）の2チームが8強入りを果たした。残りは、北信の吉田少年サッカークラブ（長野市）、

試合に先立って開会式が松本平広域公園・多目的球技場で行われ、南松本サッカースポーツ少年団の大月駿典君（開明小5年）が「全力を尽くし、正々堂々と戦うことを誓う」と力強く選手宣誓した。

《タイムス少年サッカー新人戦1日目の結果》



ゴール前の激しい攻防(松本エステーロ-長野FCガーフジュニア)



ぬかるむグラウンドで激しい攻防を繰り広げる選手(筑摩野サッカー少年団-吉田少年サッカークラブ)



ドリブルで切り込むアンテローブ塩尻ジュニアの選手



選手宣誓する南松本サッカー少年団の大月駿典君